

日本ゼオン 総合開発センター

総合開発センターについて

【主な機能】

1959年に設立。日本ゼオンの研究開発を担っています。川崎を中心に、高岡、水島、徳山の各工場にも研究所を設置しています。研究所と工場が隣接することで、研究から生産まで総合的に対応できます。



研究所正面

事業所の方針（センター長より）

「CSR基本方針」に則り、研究所員全員がCSRを自覚した研究を行っています。また、研究活動全般を通じて関連法令を遵守し、事故のない安全で活気に満ちた研究所の実現を目指します。そのために、2021年度は事業所の環境安全方針として、「全員が守る安全10ヶ条を身につけ、無事故無災害を実現しよう。」「危険に気づく力を高め、自分の身も一緒に働く仲間の身も守っていこう。」「CO₂削減に向けて、各自の持ち場で取り組みを開始しよう。」を掲げ、全員で取り組みます。



研究開発本部長
総合開発センター長
豊嶋 哲也

安全への取り組み

【方針】

「安全は存在しない。常に存在するのは危険である。」という教えのもと、安全な職場環境と無事故無災害の実現を目指します。

【具体的な取り組み】

- ・所員全員に対する安全衛生管理の意識付けと、自主活動の推進
- ・所内ルールの見直しと、皆が納得できるルールづくり
- ・新しい実験を安全に実施するための実験力の強化
- ・事故事例教育

環境負荷削減の取り組み

【方針】

環境負荷低減活動の推進と産業廃棄物ゼロエミッションの維持、CO₂排出量削減に取り組みます。

【具体的な取り組み】

- ・排ガス除去装置による大気汚染物質の除去
- ・化学物質含有液体の適切な廃棄処理

- ・分別廃棄の徹底による直接埋め立て処分量ゼロの継続
- ・CO₂ 排出量削減に関する啓蒙

社員とともに

【方針】

やる気がある者を積極的に支援する

【具体的な取り組み】

- ・オンライン語学教育、専門技術研修への派遣
- ・リーダー育成教育
- ・階層別教育
- ・共通職能技能教育
- ・職種別専門教育
- ・指導員による新入社員へのマンツーマン教育
- ・ダイバーシティ&インクルージョン研修
- ・全体集会での月間 MVP 賞表彰



オンライン全体集会



談話室企画

地域との共生

【具体的な取り組み】

1. ボランティア活動を通じた地域への貢献

- ・総合開発センター周辺の清掃ボランティア「殿町夜光クリーン大作戦」への参加（年2回）

2. 地域との交流

- ・川崎工場と協力しての、「事業報告および工場見学会」開催

3. 総合開発センター見学およびインターンシップの受け入れ

学生や若手研究者に化学企業の理解を深めてもらうために、見学およびインターンシップを受け入れています。

- ・見学（半日）：「会社」を知る
- ・短期インターンシップ（1週間程度）：「会社および仕事」を知る
- ・中長期インターンシップ（2～3ヶ月）：企業の研究開発活動を体験するとともに、知と知の融合によるイノベーションを起こす。



清掃ボランティア



見学会